



みなさん、こんにちは。

今日は、業務紹介第13弾として、道路分野の業務内容を、道路局企画課国際室渡邊係長（入省6年目）より語っていただきました！



渡邊係長（入省6年目） ※一番右

1. 道路分野の海外展開業務の国交省における役割を教えてください。

少子高齢化が進行する日本において、今後も増加が見込まれる世界のインフラ需要を取り込み、「インフラシステム輸出」を進めることは、成長戦略の重要な柱となっています。

現在、政府を挙げて、質の高いインフラの海外展開に取り組んでおり、道路局国際室でも、橋やトンネル、高速道路といった道路分野のインフラ海外展開を進めるため、官民一体となった取組により、日本企業の海外展開支援を実施しています。

2. 現在の目玉施策を教えてください。

2018年8月に「海外社会資本事業への我が国事業者の参入の促進に関する法律」が施行され、高速道路会社各社とも連携し、チームジャパンでインフラシステムの海外展開に取り組んでいます。

【参考：海外社会資本事業への我が国事業者の参入の促進に関する法律についての記者発表】

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000500.html

例えば、2020年3月には、NEXCO西日本のインドネシアにおける高速道路事業への本格参入を後押ししました。

【参考：インドネシア ジャカルタ・マカッサル高速道路運営事業についての記者発表】

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo07_hh_000555.html

このほか、二国間会議の開催や、相手国政府要人とのトップレベルの会談により、両国の協力関係の継続に貢献しています。

【参考：第6回日印道路交流会議についての記者発表】

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001280.html



3. ご自身が担当されている業務内容について教えてください。

道路局の国際窓口として、国交省内の総合政策局海外プロジェクト推進課や、外務省、JICA、海外にある日本大使館等と連携しながら、日々の業務を進めています。

例えば、政府戦略の策定作業や、国際会議の資料作成、ASEAN 各国との共同研究プロジェクトの推進などがあります。

4. 苦勞する点や、やりがいについて教えてください。

準備してきたことが、目に見える形で実現したとき、特にやりがいを感じます。例えば、昨年度はベトナムにおける高速道路セミナーの開催に携わせてもらいました。他にも、海外の方の来日時に、建設現場に案内したり、日本の道路行政についてプレゼンさせてもらう機会があるのですが、そういった「相手の顔が見える仕事」で、感謝の言葉を直接伝えていただけた時も、嬉しい気持ちになりますね。

5. 国土交通省を目指す方へのメッセージをお願いします。

最後に、「働き方改革」についても紹介させてください！道路局では、プロジェクトチームをつくって、残業時間の削減・コミュニケーションの円滑化など、多くの取組を実践しているんです。この取組が評価され、国家公務員全体の働き方改革の優良事例として「内閣人事局長表彰」も受賞したんですよ！

【参考：内閣官房 HP（令和元年度ワークライフバランス職場表彰）】

https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/jinji_w7.html

働き方改革だけでなく、普段の仕事でもそうですが、「今より状況をよくしよう」、「そのために自分たちにできることは何か」を、尊敬できる周りの方々と一緒に考えながら、仕事ができることが、国交省の1番のおすすめポイントです！

これから入省されるフレッシュな皆さんの意見も必要です。皆さんの入省をお待ちしています！



日本企業が運営事業に本格参入するインドネシアの高速道路（左）と、
日印道路交流会議の現場視察：東京外環（右）